

平成27年定期総会議案書

日 時：平成27年7月11日（土）

午後13時～午後14時

場 所：こうべまちづくり会館3F

定期総会式次第

開会のことば

資格審査報告および総会成立宣言

議長選出

議 事

第1号議案「平成26年度（第11期）事業経過報告および会計決算報告」

第2号議案「平成26年度（第11期）会計監査報告」

第3号議案「平成27年度（第12期）事業計画案および会計予算案」

第4号議案「任期満了による役員改選案に関する事項」

議長解任

閉会のことば

引き続き14時から、第39回研修会を開催します。

講演者 牧 紀男 先生（京都大学防災研究所 都市防災計画分野 教授）

「人口減少時代の新しい防災姿」

～阪神・淡路大震災、東日本大震災を踏まえて～

14：00～17：00 講演および質疑応答

特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会

【第1号議案】「平成26年度（第11期）事業経過報告および会計決算報告」

1. 事業内容

1.1 活動内容

活動は、①WG活動の実施、②研修会、③出前授業・出前講習会の活動を中心に行いました。

① WG活動の実施

ボランティアな組織であるNPOは、会員のWG活動で成り立っています。WG活動の状況は、ホームページ (<http://toshisaigai.net/katudou.html>) によって、会員および一般市民に情報発信するようにしています。議事録等がアップロードされ更新された情報については、メーリングリスト (owner-toshisaigai-ml@toshisaigai.net) で会員に逐次お知らせするようにしています。

以下に主な活動の一部を掲載します。

例会は、現在各WGで活動する方々が重複しているため、WG-Dの草の根防災活動に集約して概ね2ヶ月に1度の割合で、旧大阪事務所を主な会場として例会を開催しています。平成27年1月に東北地方復興支援に赴かれていた伊藤理事長が帰られてきました。それまでの活動は、主にその他の会員が中心でした。

② 研修会

本年度は、7月に開催した第38回研修会『建築基準法及び耐震化事業の残された問題点～木造住宅の耐震化が抱えたままの問題点～』田原賢先生（木構造建築研究所 所長）を実施しました。阪神大震災の起きた神戸市ということもあり、マスコミのかたが聴きにいられていました。

③ 出前授業・出前講習会等

出前講習は、主に奈良県で会員の柏田勝幸さんが主となって開催される防災講演会が行われました。また、京都市の技術職員を対象とした技術研修「土木技術者に求められる防災・減災の考え方とは～維持管理の時代における取組～」に講師派遣をしました。技術士会防災研究会へも講師派遣しました。

④ 広報活動

伊藤理事長が関西に帰ってこられて、ラジオ関西の三上公也のアサイチ等に生出演されました。

⑤ 幹事会の開催

5月31日、1月17日、3月7日に幹事会を開催し、事業計画・WG活動内容・講演会・現地調査などの計画等を議論した。

個別の活動記録は、下表にまとめましたので、参考にしてください。

特定非営利活動に係る事業 一覧表（平成 26 年度）

定款の事業名	事業内容	実施日	場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数
災害予防・災害発生後の対策提案	草の根防災 WG: 京都市のまち歩き; 「密集市街地が地震等の災害時に大きな問題となるであろう。都市災害に備える技術者の会として取り組むべき課題」の勉強会	平成 26 年 6 月 8 日	京都市六原地区	2 名	会員約 10 名
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	平成 26 年度(京都市)建設局技術職員研修 防災(のり面)研修 計画部門 「土木技術者に求められる防災・減災の考え方とは～維持管理の時代における取組～」	平成 26 年 7 月 2 日	京都市御池創生館	1 名	京都市技術職員約 60 名
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第 38 回研修会 講師: 田原賢先生 「建築基準法及び耐震化事業の残された問題点」～木造住宅の耐震化が抱えたままの問題点～	平成 26 年 7 月 12 日	こうべまちづくり会館	5 名	会員 13 名、会員外 12 名 (マスコミ 5 名)
災害予防・災害発生後の対策提案	防災・減災研修会・出前講座 「自治会のリーダーとして防災に対する心構え、対処等について」	平成 26 年 9 月 18 日	信貴山観光ホテル	1 名	自主防災会リーダー 12 名
災害予防・災害発生後の対策提案	田原本町多自治会防災講演 「日ごろから防災に対する心構え」	平成 26 年 9 月 20 日	多自治会館	1 名	約 40 名
災害予防・災害発生後の対策提案	磯城郡豊唾者団体への防災講演会「災害弱者の減災」	平成 26 年 10 月 26 日	田原本町水仙会館	1 名	10 名
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	日本技術士会近畿本部防災研究会での講演 「大地震時に盛土造成地で起きる滑動崩落現象の発見と予測方法の構築」	平成 26 年 11 月 25 日	日本技術士会近畿本部会議室	1 名	技術士会会員約 30 名
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	講演会「災害時要援護者が助かる道」講師 被災地 NGO 協働センター代表 村井雅清先生	平成 26 年 12 月 6 日	奈良市防災センター 2 階研修室	5 名	約 50 名
災害予防・災害発生後の対策提案	ラジオ関西に伊藤理事長が生出演 三上公也の情報アサイチ	平成 27 年 1 月 14 日	ラジオ関西	1 名	関西地域のリスナー
災害予防・災害発生後の対策提案	第 8 回 災害対策セミナー in 神戸 「次の大地震の来襲に備えて技術者ボランティアたちは何をすべきか」(伊藤、石川、貴志の 3 名が出演)	平成 27 年 1 月 23 日	神戸国際会議場	4 名	セミナー参加者
災害予防・災害発生後の対策提案	阪神淡路 20 年事業 「1.17 と 3.11 から考える土業の社会的役割と来るべき災害に備えて」(第 4 分科会)	平成 27 年 1 月 31 日	神戸市立婦人会館 4F	1 名	第四分科会参加者

平成 26 年度（第 11 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会

会計決算報告書（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

特定非営利活動に係る決算報告書

（単位 円）

区分	項目	予算	決算	差額	備考
収	会費・入金会収入	230,000	220,000	-10,000	正会員35、賛助2 入会1
	受託業務	0	0	0	
	前年度からの繰越金	2,587,138	2,587,138	0	
入	雑収入	48	43	-5	利息
	収入合計	2,817,186	2,807,181	-10,005	

	項目	予算	決算	差額	備考
支	事業費	350,000	69,694	-280,306	
	(1)市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動	20,000	0	-20,000	防災講習講師費等
	(2)災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案	20,000	0	-20,000	
	(3)災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言	60,000	1,214	-58,786	WG活動費
	(4)災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案	20,000	0		
	(5)防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催	180,000	48,176	-131,824	研修会等
	会場借用料	60,000	0	-60,000	
	印刷費等	40,000	10,140	-29,860	ニュースレター印刷
	講師旅費	60,000	90,000	-30,000	会員外の講師への謝礼
	通信費	20,000	8,098	-11,902	会員へのメール便送料
	その他	0	0	0	
	(6)防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣	30,000	0	-30,000	講師派遣（交通費等は依頼先負担）
	出	前号の活動にかかる費用	20,000	20,304	304
ウェブサイト費用		20,000	20,304	304	
管理費		110,000	43,854	-66,146	
会議費		10,000	0	-10,000	
旅費交通費		10,000	0	-10,000	
備品等整備費		10,000	0	-10,000	事務用品
消耗品費		10,000	0	-10,000	
登記手数料		60,000	29,580	-30,420	決算他登記費用
交際費		0	0	0	
支払い手数料(事務局費)		10,000	14,274	4,274	事務諸費用
予備費	0	0	0		
支出合計	460,000	113,548	-346,452		
当期収支差額（次年度繰越金）		2,357,186	2,693,633	336,447	

【第2号議案】「平成26年度（第11期）会計監査報告」

平成26年度(第11期) NPO法人都市災害に備える技術者の会 会計監査報告書

私たち会計監査は、平成26年度（第11期）NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計の処理が、適正に実施されているか否かを監査いたしました。その結果、会計処理
は適正かつ正確に行われていたことを下記の通りご報告いたします。

記

- | | |
|-----------|--|
| 1. 監査実施日時 | 平成27年 5月 11日 |
| 2. 監査帳簿類 | 活動計算書
貸借対照表
仕訳日記帳
総勘定元帳
当期の証票（領収証）
預金通帳 |

平成27年 5月 11日

監事

清水 煌三



平成27年 5月 11日

監事

山田 信祐



【第3号議案】「平成27年度（第12期）事業計画案および会計予算案」

1.事業計画

本年度は、伊藤理事長が東北復興支援から帰ってこられましたので、よりいっそう会員を対象とした事業および社会に向けての活動を行ってまいります。もし、ご依頼があれば受託業務も実施して参ります。さらに、近畿圏各府県・市や町・市民団体・学生ボランティアなどとの交流も可能な限り行います。

特定非営利活動に係る事業

【会員向け活動】

1.研修会

概ね2回程度研修会を開催したいと思います。参加は会員のみならず、技術士会・防災士会・マスコミや一般市民へも呼びかけます。

2.メールマガジン・ニュースレターの活用

即時性を重視し、WEBとメールマガジンによる情報発信形態に切り替えて行きます。ニュースレターは、会員からの投稿を中心に作成し、できるだけ刊行頻度の向上を目指します。

3.ワーキンググループの活動

これまで通り、当NPO活動の中心として活動を行っていきます。

4.顧問

前々年度に顧問に就任いただいた室崎先生、河田先生に引き続き、前泉南市長で技術士の向井通彦先生に当NPOの顧問に就任していただきます。

【社会に向けた活動】

1.講師派遣

ご依頼に応じて防災講演等に会員等を派遣します。

2.WEB等での広報

前年度同様にイベント案内や報告をホームページやメールマガジンで情報発信するほか、各WGの活動内容も公表します。また、ニュースレターだけでなく紙のパンフレットを作成して広報に努めます。

3.市民からの相談に答える

WEBに相談窓口を設け、WGメンバーが中心となって一般市民からの相談事にも対応していきます。

4.防災啓発本 『(仮称) 土地を買う前に読む本・家を建て替える前に読む本』 出版事業

WEB公開を徐々に進めていきたいと思っています。

5.マスコミとの連携

関西のマスコミの防災担当者の勉強会である「関西なまずの会」に積極的に参加させていただき、情報発信をより活発化させていきたいと考えています。

平成 27 年度（第 12 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会

会計予算案（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

特定非営利活動に係る会計予算（案）

（単位 円）

区分	項目	前年度実績	予算	備考
収	会費・入会金収入	220,000	220,000	正会員35、賛助2 入会1
	受託業務	0	0	
	小計	(220,000)	(220,000)	単年度収入小計
入	前年度からの繰越金	2,587,138	2,693,633	
	雑収入	43	43	利息
	収入合計	2,807,181	2,913,676	

区分	項目	前年度実績	予算	備考
	事業費	69,694	350,000	
	(1)市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動	0	20,000	防災講習講師費等
	(2)災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案	0	20,000	
	(3)災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言	1,214	60,000	WG活動費
	(4)災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案	0	20,000	
	(5)防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催	48,176	180,000	研修会等
	会場借用料	0	60,000	
	印刷費等	10,140	40,000	ニューズレター・パンフレット印刷
	講師謝礼旅費	30,000	60,000	会員外の講師への謝礼
	通信費	8,036	20,000	会員へのメール便送料
	その他	0	0	
	(6)防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣	0	30,000	講師派遣に係る費用
	前号の活動にかかる費用	20,304	20,000	
	ウェブサイト費用	20,304	20,000	プロバイダ料金等
	管理費	43,854	110,000	
	会議費	0	10,000	
	旅費交通費	0	10,000	旅費
	備品等整備費	0	10,000	封筒代等
	消耗品費	0	10,000	
	登記料	29,580	60,000	決算登記費用
	交際費	0	0	
	支払い手数料(事務局費)	14,274	10,000	事務諸費用
	予備費	0	0	
	支出合計	113,548	460,000	
	当期収支差額（次年度繰越金）	2,693,633	2,453,676	

【第4号議案】任期満了による役員改選案に関する事項

任期満了に伴う役員改選を以下の通り提案いたします。

新役員名簿

役職名	氏名	就任期間	新任	留任
理事	伊藤東洋雄	平成27年4月1日 ～平成29年3月31日		○
理事	片瀬範雄	平成27年4月1日 ～平成29年3月31日		○
理事	石川浩次	平成27年4月1日 ～平成29年3月31日		○
理事	廣野一道	平成27年4月1日 ～平成29年3月31日		○
理事	太田英将	平成27年4月1日 ～平成29年3月31日		○
理事5名（留任5名）				
監事	山田信祐	平成27年4月1日 ～平成29年3月31日		○
幹事	清水煌三	平成27年4月1日 ～平成29年3月31日		○
監事2名（留任2名）				

定款より

第4章 役員及び職員

(種別及び定数)

第13条 この法人に正会員の中から次の役員を置く。

(1)理事 3人以上10人以下

(2)監事 2人

2 理事のうち、1人を理事長、2人を副理事長とする。

(選任等)

第14条 理事及び監事は、総会において選任する。

2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。

3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

4 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

(任期等)

第16条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項の規定にかかわらず、後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終結するまでその任期を伸張する。

3 補欠のため、又は増員によって就任した役員任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

4 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

定款 (通常総会に関連する部分の抜粋)

(開催)

第24条 通常総会は、毎事業年度1回開催する。

(招集)

第25条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。

(議長)

第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第27条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第29条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、前2条、次条第1項第2号及び第49条の適用については、総会に出席したものとみなす。

(議事録)

第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1)日時及び場所

(2)正会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。)

(3)審議事項

(4)議事の経過の概要及び議決の結果

(5)議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印または記名、押印しなければならない。

事務局	事務所	兵庫県西宮市すみれ台3丁目1番地 (太田ジオリサーチ内) Tel 078-907-3120 Fax 078-907-3123	WEB	http://www.toshisaigai.net e-mail:office@toshisaigai.net
	理事	伊藤 東洋雄 (理事長) 石川 浩次 (副理事長) 片瀬 範雄 (副理事長) 廣野 一道 太田 英将 (事務局長兼務)	監事	山田信祐 清水煌三
	顧問	室崎 益輝 先生 河田 恵昭 先生 向井 通彦 先生		

WG活動

WG略称	テーマ	代表者	活動情報
防災教育WG (WG-A)	まちづくり・教育を考える	西山峰広	防災カフェなどで子どもたちや一般市民への防災教育を行っています。
地震災害の軽減WG (WG-B)	津波・地震災害軽減を考える	石川浩次	地震情報の収集や、他のイベントへの参加を行っています。WG-Dと合同で活動を行います。
地盤防災WG (WG-C)	地盤防災を考える	太田英将	活動を通じて関連ができた自治会などの造成地について危険谷埋め盛土の抽出を行います。WG-Dと合同で活動を行います。
草の根防災WG (WG-D)	地域活動を考える	伊藤東洋雄	幼稚園から大学までの防災・減災出前授業を行っています。他の団体(自主防災組織や防災団体など)と連携して活動しています。他のWGとも連携をとって活動していきます。
木造耐震WG (WG-E)	木造家屋の耐震化	田原 賢	準備中